



↑交通安全教室の様子

5/12 若草保育所交通安全教室（こぐまくらぶ）  
模擬信号機で横断練習

若草保育所で「交通安全教室」が実施され、年長年中児 29 名が参加しました。雄武駐在所の青木巡査長が、信号の見方や信号機のない道路の渡り方などの交通ルールについて説明し「歩行者用の信号が青に変わっても、すぐ渡らずに左右の安全を確認してから渡りましょう」と呼びかけました。

その後、園児たちは青木巡査長と交通安全指導員に教わりながら、横断練習に取り組みました。



↑（左から）應治由美氏（ご遺族）、高橋町長

4/30 特旨叙位  
位記の伝達

元雄武町選挙管理委員会委員長の故 光成良行氏が特旨叙位として従六位に叙され、ご遺族に対して町長から位記の伝達が行われました。

故人は平成 3 年 10 月 31 日から雄武町選挙管理委員に就任して以来、長年にわたり地方自治の向上と発展に尽力されました。

また、平成 5 年 6 月 25 日からは同委員会委員長を務め、選挙の適正な管理執行や啓発運動を積極的に推進してこられた功績が認められ、今回の特旨叙位へと至りました。

5/17 春季めだか塾  
潮だまりに夢中

雄武町子ども育成会主催の「春季めだか塾 磯であそぼ！」が開催され、多くの児童が参加しました。浜へ移動する前に、雄武町子ども育成会幹事の四辻裕二氏から、磯遊びでの注意事項について説明があり、児童たちは真剣な表情で耳を傾けていました。浜に到着すると、子どもたちはさっそく岩をひっくり返し、カニやヤドカリなどの磯の生き物たちを見つけては夢中になっていました。

磯遊びのあとは、昼食にホタテカレーを味わいました。子どもたちは「おいしい」と笑顔を見せながら、楽しいひと時を過ごしていました。



↑磯遊びの様子

5/6 こどものつどい  
最高記録を目指して

風の子児童センターで、民生児童委員協議会の協力のもと「こどものつどい」が開催され、幼児や小学生が元気いっぱいに参加しました。遊戯室では『カシャカシャ万歩』『ひやひやピンポン』『カプラ井型積み』『サイコロ 1 出し』『15 秒チャレンジ』の 5 種目が行われ、子どもたちは『風の子ギネス』の更新を目指して、真剣な表情で挑戦していました。

催しの最後には『お餅まき』が行われ、袋いっぱい餅を集めた子どもたちは、とても嬉しそうでした。



↑カプラ井型積み挑戦する児童



↑工藤さん

5/10 全道民謡決勝大会出場決定  
北誠会 今年も全道へ

この日、名寄市民文化センターで、北海道民謡連盟道北地区民謡連合会が主催する「令和 8 年度全道民謡決勝大会予選」が開催され、雄武北誠会から 11 名が参戦。その中で、小学 2 年生の工藤真奏波さんが幼年の部で準優勝を果たし、8 月に札幌市で開催される「全道民謡決勝大会」への出場を決めました。

このことについて、雄武北誠会会長兼講師の新山祥子さんは「決勝大会でも頑張ってもらいたい」と期待を寄せ、工藤さんは「入賞を目指して頑張ります」と決勝大会への決意を新たにしていました。